



2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月15日

上場会社名 株式会社ロコンド
 コード番号 3558 URL <https://www.locondo.co.jp/ir>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 田中 裕輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部ディレクター (氏名) 田村 淳

TEL 03-5465-8022

四半期報告書提出予定日 2019年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	4,156		330		354		354	
2019年2月期第2四半期								

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 354百万円 (%) 2019年2月期第2四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	31.82	
2019年2月期第2四半期		

(注) 当社は、2019年2月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年2月期第2四半期の数値及び2020年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	5,607		2,973			53.0
2019年2月期	5,503		3,097			56.2

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 2,969百万円 2019年2月期 3,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	10,000		0		0		200	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社モバコレ、除外 1 社 (社名) 株式会社モバコレ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	11,413,560 株	2019年2月期	11,054,760 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	120,380 株	2019年2月期	380 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	11,149,735 株	2019年2月期2Q	10,894,760 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	前年同期比
商品取扱高(返品前)	11,018,700	—
商品取扱高(返品後)	9,022,628 (100.0%)	—
売上高(注)3	4,156,617 (46.1%)	—
売上総利益	3,241,712 (35.9%)	—
EBITDA(注)1、2	△254,955	—
営業損失	△330,963	—
経常損失	△354,364	—
親会社株主に帰属する四半期純損失	△354,790	—
EC事業(返品前)		
出荷件数(件)	986,768	—
平均出荷単価(円)	8,817	—
平均商品単価(円)	5,273	—

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれんの償却額

2. 当社グループでは、2020年2月期よりののれんの償却が発生しておりますが、今後とも事業の成長加速のためM&Aを積極的に検討していく方針であり、のれんの償却が増加する可能性があります。この点を考慮し、EBITDAを参考指標として開示しております。
3. EC事業の受託型については販売された商品の手数料を、プラットフォーム事業についてはサービスの手数料を売上高として計上しております。
4. () 内は商品取扱高(返品後)に対する割合を記載しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策、金融政策等により企業収益、雇用環境が緩やかな回復基調にあるものの、消費増税による景気の下振れ懸念、米中貿易摩擦、中国経済の下振れ懸念などにより先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは「業界に革新を、お客さまに自由を」という経営理念の下、事業に取り組んでいます。「自宅で試着、気軽に返品」の靴とファッションの通販サイト、「LOCONDO.jp」を軸とするEC事業においては、TVCMの開始による認知度向上、継続的な「LOCONDO.jp」の改善によるユーザー満足の上昇を図って参りました。また、自社公式EC支援(BOEM)、倉庫受託(e-3PL)、店舗の欠品及び品揃え補強(LOCOCHOC)等のサービスを提供するプラットフォーム事業につきましても、サービスの強化及び導入社数の増強を図っております。

当社がこれまで訴求できていなかったユーザー層(20代女性)へ当社サービスの訴求等を目的に、2019年3月29日に株式会社モバコレの全株式を取得しました。また、2019年6月1日に株式会社モバコレを吸収合併し、株式会社モバコレが運営していたショッピングサイト「モバコレ」を「LOCONDO.jp」へ統合しました。これにより、旧「モバコレ」会員のアクティブ率向上を図るとともに、アパレル領域の強化を図っております。

これらの結果、商品取扱高(返品後)は9,022,628千円となり、売上高につきましても4,156,617千円となりました。一方、認知度向上を目的としたTVCM等の広告宣伝費を前連結会計年度に引き続き積極的に投下したことにより、販売費及び一般管理費は3,572,676千円となり、EBITDAは△254,955千円、営業損失は330,963千円、経常損失は354,364千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は354,790千円となりました。

各事業別の業績は以下のとおりであります。

事業別	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)					
	商品取扱高 (返品前) (千円)	構成比 (%)	商品取扱高 (返品後) (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
EC事業	8,700,765	79.0	6,760,009	75.0	3,155,856	76.0
うち、LOCONDO.jp	7,488,964	68.0	5,634,698	62.5	—	—
うち、LOCOMALL	1,211,800	11.0	1,125,310	12.5	—	—
プラットフォーム事業	1,682,523	15.3	1,627,206	18.0	463,176	11.1
ブランド事業	635,411	5.7	635,411	7.0	537,584	12.9
合計	11,018,700	100.0	9,022,628	100.0	4,156,617	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 当社グループの事業セグメントは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、セグメント別の販売実績の記載はしておりません。
3. 「LOCOMALL」とは、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」など他社モールにて展開する「LOCOMALL」の取扱高等になります。
4. EC事業の受託型に係る売上高については、販売された商品の手数料を受託販売手数料として計上しております。
5. EC事業の商品取扱高(返品後)に占める受託型の取扱高は、下記のとおりです。なお、「LOCONDO.jp」と「LOCOMALL」別に受託型を把握する事が困難であるため、それぞれの売上高は記載しておりません。

	当第2四半期連結累計期間
受託型商品取扱高比率	86.8%

① EC事業

EC事業につきましては、受託型と買取型の2つの取引形態があります。商品取扱高(返品前)、商品取扱高(返品後)は商品の販売価格を基に記載しておりますが、売上高は買取型については商品の販売価格を計上し、受託型については販売された商品の手数料を受託販売手数料として計上しております。「LOCONDO.jp」の運営、「楽天市場」、「Yahoo!ショッピング」など他社モールへの出店を行っており、当第2四半期連結累計期間においては出荷件数は98万件、出店ブランド数は2,365と順調に増加しました。その結果、商品取扱高(返品後)は6,760,009千円、売上高は3,155,856千円となりました。

② プラットフォーム事業

プラットフォーム事業につきましては、ブランドの自社公式EC支援(BOEM)、倉庫受託(e-3PL)、店舗の欠品及び品揃え補強(LOCOCHOC)の運営等を行っております。「BOEM」における支援企業社数は新たに大塚製靴株式会社などの開始により当第2四半期会計期間末時点で24社となりました。これにより、当第2四半期連結累計期間の商品取扱高(返品後)は1,627,206千円、売上高は463,176千円となりました。

なお、倉庫受託(e-3PL)に関しては、ユーザーへの販売を伴わない商品補充等の出荷も含まれるため、その出荷額は商品取扱高(返品前)、商品取扱高(返品後)には含めておりません。

③ ブランド事業

ブランド事業につきましては、EC事業及びプラットフォーム事業のサービスを活用し、自社でブランド運営を行っております。現在の主な取扱ブランドは「MANGO」、Misuzu & Co.が扱う「Vanity Beauty」「Bell Florrie」などであり、当第2四半期連結累計期間の商品取扱高(返品後)は635,411千円、売上高は537,584千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて562,543千円減少し、4,177,565千円となりました。これは主に、買取商品の拡充により商品が286,825千円増加した一方で、関係会社株式の取得、自己株式の取得等により現金及び預金が819,251千円、受取手形及び売掛金が33,141千円減少したことによるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて666,543千円増加し、1,429,444千円となりました。これは主に、関係会社株式の取得に伴うのれんの計上等により無形固定資産が396,735千円増加したことによるものであります。

③ 負債合計

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて228,345千円増加し、2,633,573千円となりました。これは主に、ECサービスの取引拡大により受託販売預り金が100,364千円、支払手形及び買掛金が82,670千円増加したことによるものであります。

④ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて124,344千円減少し、2,973,436千円となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬として新株を発行したこと等により資本金と資本剰余金がそれぞれ165,771千円増加した一方で、自己株式101,097千円を取得したことと、親会社株主に帰属する四半期純損失354,790千円を計上したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,874,817千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は255,219千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上354,364千円、売上債権が182,923千円、仕入債務が39,083千円、未払金が124,902千円減少、たな卸資産が187,663千円増加したことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は444,538千円となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出398,064千円等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は96,104千円となりました。これは主に自己株式の取得による支出101,097千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の通期の業績予想につきましては、2019年7月12日の「通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,741,568	1,922,317
受取手形及び売掛金	860,946	827,805
商品	894,250	1,181,076
貯蔵品	9,481	9,282
その他	233,860	237,084
流動資産合計	4,740,108	4,177,565
固定資産		
有形固定資産	169,372	160,703
無形固定資産		
のれん	—	382,423
その他	94,729	109,041
無形固定資産合計	94,729	491,465
投資その他の資産	498,799	777,276
固定資産合計	762,901	1,429,444
資産合計	5,503,010	5,607,010
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,389	235,059
受託販売預り金	481,965	582,330
短期借入金	1,000,000	1,000,000
未払金	478,811	485,497
未払法人税等	3,988	20,489
ポイント引当金	45,044	24,134
その他	123,427	183,201
流動負債合計	2,285,627	2,530,713
固定負債		
長期末払金	56,577	46,712
繰延税金負債	63,023	56,148
固定負債合計	119,601	102,860
負債合計	2,405,228	2,633,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,153,436	1,319,207
資本剰余金	1,931,718	2,097,490
利益剰余金	9,437	△345,353
自己株式	△391	△101,488
株主資本合計	3,094,200	2,969,855
新株予約権	3,581	3,581
純資産合計	3,097,781	2,973,436
負債純資産合計	5,503,010	5,607,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
売上高	4,156,617
売上原価	914,905
売上総利益	3,241,712
販売費及び一般管理費	3,572,676
営業損失(△)	△330,963
営業外収益	
受取利息	13
物品売却益	2,113
その他	1,523
営業外収益合計	3,650
営業外費用	
支払利息	3,000
為替差損	21,664
その他	2,385
営業外費用合計	27,051
経常損失(△)	△354,364
税金等調整前四半期純損失(△)	△354,364
法人税、住民税及び事業税	7,301
法人税等調整額	△6,875
法人税等合計	426
四半期純損失(△)	△354,790
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△354,790

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)
四半期純損失(△)	△354,790
四半期包括利益	△354,790
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△354,790
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△354,364
減価償却費	41,242
のれん償却額	34,765
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△20,910
受取利息及び受取配当金	△13
支払利息	3,000
売上債権の増減額(△は増加)	182,923
たな卸資産の増減額(△は増加)	△187,663
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,083
受託販売預り金の増減額(△は減少)	100,364
未払金の増減額(△は減少)	△124,902
その他	95,583
小計	△269,056
利息及び配当金の受取額	13
利息の支払額	△3,000
法人税等の支払額	△587
法人税等の還付額	17,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	△255,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△18,188
無形固定資産の取得による支出	△28,696
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△398,064
その他	411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△444,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	4,993
自己株式の取得による支出	△101,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△819,251
現金及び現金同等物の期首残高	2,694,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,874,817

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

- (1) 当第2四半期連結累計期間において、譲渡制限付株式の発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ165,771千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,319,207千円、資本剰余金が2,097,490千円となっております。
- (2) 当社は、2019年8月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式120,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が101,097千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が101,488千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。